

## 和歌山病院での実習を終えて



永井 早紀

私は7月の1ヶ月間、地域研修として和歌山病院で研修させて頂きました。

今後の内科診療に携わる際に、大学病院での研修においてあまり経験のなかった肺炎や喘息、COPDなどの **common disease** を学びたいと思い研修先として選ばさせて頂きました。

受け持ち患者さんは平均5人程度で、入院時の病状説明から退院後の方針決定に至るまでの一連の流れを経験させて頂きました。入院中は主治医として関わりますが、治療で迷うことがあれば担当医の先生、また他のスタッフの先生方にも丁寧に指導していただける環境でありがたかったです。

外来では初診の患者さんを担当し、診察、鑑別、必要な検査を進めるといった外来業務を経験させて頂きました。入院患者さんとは違い、限られた時間のなかでスムーズに診察をして原因を考えることは難しかったです。多くのことを学びました。またこれまで研修医は問診を担当、診察は上級医の先生に依頼といった機会が多かったので、戸惑うこともありましたが指導医の先生のサポートもあり、大変貴重な経験ができました。

また研修中には院長の南方先生より胸部画像の読み方を教えて頂きました。これまですぐに胸部CTに頼るといった読み方をしていましたが、胸部レントゲンからこれほど情報が得られることに驚きました。わかりやすい指導をして頂き大変勉強になります。

1ヶ月と大変短い間でしたが、スタッフの皆様にも大変親切にして頂き、充実した研修を行うことができました。

院長先生をはじめ諸先生方、職員の皆様に御礼申し上げます。有難うございました。